

博士課程

【学内選考用(大学院生)】

学籍番号: \_\_\_\_\_

名前: \_\_\_\_\_

連絡先(携帯電話): \_\_\_\_\_

連絡先(メールアドレス): \_\_\_\_\_

奨学金名 : 令和2年度公益信託松尾金蔵記念奨学基金

提出期限 : 2020年4月6日(月) **期限厳守(期限を過ぎた場合は受理できません)**

書類受理日 : 年 月 日(受付担当者氏名: )

●提出書類

財団が指定する書類以外に下記の書類が必要です(学内選考用)。該当する書類を提出してください。財団が指定する書類と重複する場合は、コピーでかまいません。**(様式1~8は大学ホームページより各自ダウンロードしてください。掲載場所: 香川大学→在学生・保護者の方→授業料・入学料・奨学金・保険制度→奨学金→奨学金の募集→各種奨学金募集)**  
 ※提出書類がA4より小さい場合は、A4サイズの紙に貼り付けしてください。

申請者本人が提出する書類	
①収入計算書	令和元年(平成31年)と令和2年の1年間の収支についてそれぞれ記載してください。
申請者本人とその配偶者が提出する書類	
②所得証明書	平成31年度(平成30年分)所得証明書(☆) 無収入の人で所得証明書を提出する場合は、下記の⑤を参照してください。
該当するものを申請者本人とその配偶者が提出する書類	
③定職に就いている人	○令和元年分源泉徴収票(☆) ○平成31年1月2日以降に就職・転職した場合または源泉徴収票がない場合は、年収見込証明書(新勤務先発行)または年収見込額計算書(様式1)
④アルバイトをしている人	アルバイト先すべてについて ○令和元年分源泉徴収票(☆) ○平成31年1月2日以降に就職・転職した場合または源泉徴収票がない場合は、年収見込証明書(新勤務先発行)または年収見込額計算書(様式1)
⑤無収入の人	○収入に関する事情書(様式7)を提出してください。 ○あわせて所得金額0円と記載のある平成31年度分(平成30年分)所得証明書または非課税証明書等(☆) 金額が0円となっている書類を提出してください(記載なし、*等は不可)。
⑥年度途中で退職した人	平成31年1月2日以降に退職した場合、勤務先が発行した退職証明書(☆)または退職証明書(様式8)
⑦年金、児童扶養手当、生活保護、雇用保険受給者	最新の年金受給額等(年額)が分かるもの(学改訂通知書、受給証書、通知書等)(☆)
該当するものを申請者本人とその配偶者・子が提出する書類	
⑧障害のある人がいる場合	身体障害者手帳等(☆)
⑨申請時に6ヶ月以上の長期にわたる療養者の家族がいる場合	長期療養証明書(様式5)、医療費等の領収書(☆)、診断書
⑩この1年間に風水害等の災害及び盗難等の被害にあった場合	○被害状況申立書(様式6)、罹災証明書等の公的機関による証明書 ○家屋補修の見積書等、被害により生じた支出を証明するもの(☆) ○保険金支払証明書等、保証・補填された金額を証明するもの(☆)

(☆)コピー可

# 《 収入計算書 》

○収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。

研究科名 : \_\_\_\_\_ ○香川大学卒業生のみ記載

学籍番号 : \_\_\_\_\_ 学部名 : \_\_\_\_\_

氏名 : \_\_\_\_\_ (印) 旧学籍番号 : \_\_\_\_\_

1. 前年(平成31年1月～令和元年12月)の収入額	
【証明書必要】	
収入項目	収入額(年額/万円)
定職 (◎) ( )	定職(本人)
	定職(配偶者)
アルバイト (◎) ( )	アルバイト1
	アルバイト2
	アルバイト3
父母からの給付額(★)	
奨学金	
その他収入(利子・配当・預貯金の取崩等)	
収入合計	

2. 申込者1人にかかる前年(平成31年1月～令和元年12月)の支出額	
【申告のみ:証明書不要】	
支出項目	支出額(年額/万円)
日常生活費(食費・住居費・光熱費等)(☆)	
授業料	
通学費(定期代等)	
その他費用(書籍費・遊興費・課外活動等)	
支出合計	

※収入 ≥ 支出となるようにしてください。

[記入時の注意事項]  
 ★計上する場合、下記の月別内訳を記入してください。また、自宅通学者の場合は、(世帯年関係費/家族人数)を年間収入とみなしてかまいません。  
 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費(世帯年間経費/家族人数)を記入してください。

★父母からの給付額について(月別内訳) 給付者氏名 \_\_\_\_\_ 印 (続柄: \_\_\_\_\_)

31年(元年)	日常生活費	授業料	通学費	その他	31年(元年)	日常生活費	授業料	通学費	その他
1月					8月				
2月					9月				
3月					10月				
4月					11月				
5月					12月				
6月					小計				
7月					合計				万円(1万円未満切捨)

月別の算出が難しい場合には、小計欄に記載してください。

【収入の状況】(A・Bの該当するほうに○をつけてください)

A	本年の見込収入額については、前年の収入金額に対して変動はありません。⇒ 以下、記入不要
B	本年の見込収入額については、前年の収入金額に対して変動しますので、以下のとおり報告します。 ⇒ 以下、全て記入。 1. の証明書は変動のあるもののみ提出

1. 本年(平成2年1月～12月)の見込収入額	
【証明書必要】	
収入項目	収入額(年額/万円)
定職 (◎) ( )	定職(本人)
	定職(配偶者)
アルバイト (◎) ( )	アルバイト1
	アルバイト2
	アルバイト3
父母からの給付額(★)	
奨学金(※)	
その他収入(利子・配当・預貯金の取崩等)	
収入合計	

2. 申込者1人にかかる本年(令和2年1月～12月)の見込支出額	
【申告のみ:証明書不要】	
支出項目	支出額(年額/万円)
日常生活費(食費・住居費・光熱費等)(☆)	
授業料	
通学費(定期代等)	
その他費用(書籍費・遊興費・課外活動等)	
支出合計	

※収入 ≥ 支出となるようにしてください。ならない場合は、下記に理由を記載してください。

[記入時の注意事項]  
 ★計上する場合、下記の月別内訳を記入してください。また、自宅通学者の場合は、(世帯年関係費/家族人数)を年間収入とみなしてかまいません。  
 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費(世帯年間経費/家族人数)を記入してください。  
 ※申請中の奨学金については記載しないでください。

★父母からの給付額について(月別内訳) 給付者氏名 \_\_\_\_\_ 印 (続柄: \_\_\_\_\_)

2年	日常生活費	授業料	通学費	その他	2年	日常生活費	授業料	通学費	その他
1月					8月				
2月					9月				
3月					10月				
4月					11月				
5月					12月				
6月					小計				
7月					合計				万円(1万円未満切捨)

収入 ≥ 支出とならない理由

月別の算出が難しい場合は、小計欄に記載してください。